

「今週の1枚」



ヤブツバキ （ツバキ科）

台湾から本州までの暖温帯に生育する常緑小高木。つやのある葉を持った木というのが名前の由来とされたとおり、照葉樹の代表的な存在である。低地のタブ林から、シイ林、ブナ林に接するアカガシ林まで、ほとんどの照葉樹林の低木層、亜高木層に見られる。野生のものをヤブツバキ、栽培されているものをツバキと呼ぶが、園芸品種を除いて基本的には同じものである。足摺岬では海岸風衝林の優占種となり、歩道や車道がツバキのトンネルとなる。もう咲き始めたが、本格的な開花は2月の中下旬。（埴田）

（No.84 2003.1.20 掲載）

Camellia japonica L. (Theaceae)

An evergreen small tree, very popular and diagnostic species of warm-temperate laurel forests, constitutes sub-tree or shrub layer.